

-----3月21日-----

## 今週のアウトルック (3/21 ~ 3/25)

先週後半は投機筋の円買い、協調介入と忙しい一週間でした。投機筋の「原発不安要因」などを理由とした、円買いの仕掛けで、一気に円高が進みましたが、18日には協調介入で元の水準まで戻しています。

協調介入の意味は大きく、先進各国がこれ以上の円高を望まないという姿勢は、これ以上の投機的な円買いを難しくさせているように思います。

今週は、原発の動向や、NATOによるリビア攻撃の動向など、不安要因はいくつかありますが、大きな変化が起これなければ、円安が進む可能性が高いように思います。

ドル円は投機筋の仕掛けにより、76円台まで下落したのち、協調介入で82円付近まで一度回復し、80.5円付近で週末を迎えています。今週はそれほど大きく動けないまでも、80円以下の円高の可能性は小さいように思います。リビア情勢や原発動向に大きな変化がなければ、83円あたりまで円安が進む可能性はあるように思います。

ドル円の予想レンジは80円から83円です。

ユーロドルの上昇トレンドが継続しています。ただ、テクニカル的には過熱感も強く、一度1.42を上限とした調整はあるかもしれません。ここを抜けると次のターゲットは1.5となりそうなので、再び大きく上昇する可能性は高そうです。円に対しても基本的には円安トレンドであるため、調整を含みながら、上昇トレンドは継続すると思われる。

ユーロ円の予想レンジは114円から117円です。

ポンド円も介入を機に、再び円安トレンドに転換した可能性が高いです。大きな問題が起これなければ、135円を目指す可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは131円から135円です。

何もなければ円安、という状況ではありますが、今週から来週にかけて、そろそろ震災前のトレンドに戻っても良い時期なのかもしれません。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。